

愛知民報

2019年
9月8日
第2460号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番27号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月 400円 郵送料160円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を
周りの人に

欠陥墜落戦闘機 F35

試験飛行 再開強行



三菱小牧南工場で組み立てられ、試験飛行するF35戦闘機。後方は航空自衛隊小牧基地＝愛知県営名古屋空港

三菱小牧南工場が整備拠点に 県営空港軍事利用拡大の危険

三菱で組立

防衛省は2日午前10時5分ごろ、愛知県営名古屋空港(豊山町)を使用する戦闘機F35Aの試験飛行を再開しました。

F35Aは米国最大の軍需企業ロッキード・マーチン社を中心に世界9カ国が共同開発した最新鋭の戦闘機。安倍政権は同型機と短距離離陸垂直着陸型のF35Bを合わせて147機導入する計画です。

県営名古屋空港に隣接している三菱重工小

牧南工場では、航空自衛隊に納入するF35Aの最終組立作業が行われています。

同工場を組み立てられ航空自衛隊三沢基地に納入された初号機は今年4月、訓練中に青森県沖の太平洋で墜落しました。原因は空自パイロットの「空間認識失調」とされ、十分な説明はされていません。

同日、日本共産党愛知県委員会、本村伸子衆院議員らは、同戦闘機の飛行再開中止を求め、東海防衛支局(名古屋)

古屋市)に申し入れ。その席で、応じた同局担当者は「飛んだと聞いている」と飛行再開を認めました。

また、春日井市のホームページには同戦闘機が試験飛行したことを知らせる情報提供が掲載されました。

本村氏らは2日の試験飛行について、「住民に知らされないままの飛行強行だ」と厳しく抗議しました。同党愛知県委員会は3日、大村秀章県知事にも申し入れました。

小泉親司さん 講演

日本平和委員会理事

小牧平和県民集會事前学習会

愛知県内の平和団体・民主団体でつくる

整備拠点化

「米軍は、三菱重工小牧南工場を、アジア太平洋地域のF35の修

理、整備、部品供給をおこなう兵たんの拠点にしようとしている。もし、実際に投入された米軍機が飛来し機体整備をおこなうことになれば、県営空港は軍事利用され米軍基地化していきます」

市街地に飛来

小泉氏は、市街地に隣接する同空港にF35が飛来することの危険性を告発。「F35は米会計監査院が966の欠陥を指摘する欠陥機です。もし米軍機が墜落事故を起こせば、日米地位協定が適用され事故現場には日本警察も被害遺族も立ち入ることではできません。まさに沖縄と同じです」と述べました。

安倍政権倒そう

小泉氏は、「安倍政権になって6年連続して日本の軍事費は5兆円を突破し増額を続けています。軍拡では日



東海防衛支局に抗議

防衛省東海防衛支局にF35の試験飛行中止を申し入れる本村伸子衆院議員、すやま初美愛知県常任委員ら＝2日、名古屋市

F35 第23回小牧平和県民集會
10月6日(日) 午後0時半
小牧市・市之久田公園
ゲストスピーチ 岩国からの報告「米軍F35の実態」。
デモ出発2時。同集會実行委員会 ☎052(9331)0070